

デュッセルドルフからのニュース

日本とEUの自由貿易協定への期待

数年間の交渉の末、日・EU自由貿易協定（日EU経済連携協定 JEEPA）の締結が近づいている。欧州委員会は正式に2018年4月18日に欧州理事会に同協定を提出した。この協定はヨーロッパ大陸で最大の日本コミュニティがあるデュッセルドルフでは、企業と市民にとって大きなチャンスをもたらすと見込まれている。在デュッセルドルフ日本国総領事館、IHKデュッセルドルフ、JETROデュッセルドルフ、デュッセルドルフ



日本商工会議所 JIHK、日独産業協会 DJW は、デュッセルドルフと NRW 州が二国間の経済交流において特別な役割を果たすことを強調した。60年以上にわたる日本との活発な貿易とビジネスは、日独関係の象徴的成功例となっている。

NRW 州で事業を展開する日本企業 617 社は、約 42,000 人の雇用を創出し、そのうち約 11,000 人の従業員がデュッセルドルフ市内に拠点を構える 405 社の日本企業に雇用されている。一方、NRW 州のドイツ企業も 100 社ほど、既に日本に子会社を持つ。日本との自由貿易協定の発効に伴い、大部分の関税と非関税障壁は中期的に完全に廃止される見込み。また、特に食品分野での非関税貿易障壁の削減、欧州および国際規格の認知の結果として、ドイツ企業にとっても新たなチャンスをもたらすと見込まれる。欧州企業の日本の大都市への投資の機会も増えるだろう。調査によると、ドイツへの日本からの輸出は最大 70% 増加すると結論づけられている。また、日本企業のドイツへの投資と、ドイツ企業の日本への投資が双方増加すると予想されている。消費者は関税などの廃止による製品価格の将来的な低下により、利益を享受することとなる。詳しくは、www.duesseldorf.de/jeepa（日本語/ドイツ語）

出典：2018年5月11日付 City of Düsseldorf (www.duesseldorf.de)



西濃シェンカー株式会社

デュッセルドルフ展示会
指定公式運送業者

詳しくはこちらへ

glasstec 2018 デュッセル CLUB 2018 年 4 月 11 日開催



MDJ は今年 10 月、デュッセルドルフで開催されるガラス製造加工・技術に関する [glasstec](#) メッセの発表会を 4 月 11 日に東



京で開催した。当日はドイツ機械工業連盟 (VDMA) ガラス設備機械工業会ヘルマンズ理事、メッセ・デュッセルドルフ社シェーファー代表取締役 (写真左) が来日し、参加したブ

レス、工業会、メーカーなどの業界関係者に対し、glasstec メッセの見所、特徴、そしてヨーロッパの業界動向について発表した。会場を変えて行われたレセプションでは、食事を囲みながら業界関係者が情報交換、名刺交換に加え、2 年に 1 回開催のメッセに対する期待を語り合い、有意義なひと時を過ごした。発表会の資料を希望の方は MDJ の担当、ユングまでお問合せ下さい。

見本市期間中、デュッセルドルフ市内の
ホテルを多数確保!
日程、ご予算に合わせて見積いたします。
出展・視察の際はぜひお問い合わせください。

デュッセルドルフだけでなく、
ケルン、ハノーバー、フランクフルト、ミュンヘン
のホテル及び航空券も扱っております。

www.imi-messe.co.jp
TEL:03-3592-1555
株式会社アイ・エム・アイ

IMIドイツ見本市専門旅行会社
ホテルのことならお任せください

ブースデザインと施工のことは
NOIにおまかせください

NOI
Messebau weltweit seit 1983

wire2018 国際ワイヤー産業専門見本市 / Tube2018 国際管材製造加工・技術展



デュッセルドルフ会場で 4 月 16 日～20 日まで同時開催された [wire2018](#) // [Tube2018](#) には、約 2,700 社の出展者がデュッセルドルフに集まり、業界の最新技術・製品やトレンドを展示発表した。134ヶ国から 71,500 名の来場者にデュッセルドルフ見本市会場でワイヤーや電線、またチューブ・管材の関連機械・設備や製品について情報収集をした。

今回も日本出展者と来場者を対象とした「ジャパン・イブニング」を開催した。今回、5 回目の開催となり、リラックスした雰囲気、ほぼ 40 名の出展者と来場者間の意見交換と交流の場となった。次回 wire/Tube は 2020 年 3 月 30 日～4 月 3 日に開催される。

(担当：ユング)

サービス ALLIANCE 新メンバー紹介



MDJ
サービス
ALLIANCE

MDJ サービス ALLIANCE はホテル手配、ブース装飾、展示品運送、VAT 還付、印刷物作成など、見本市に関連するサービス提携業者のネットワークです。出展者の皆様のメッセ参加準備に関する負担軽減のため、MDJ がその品質と実績を認定したサービス業者を一元的に紹介します。ドイツのメッセ参加も日本にしながら日本語での対応、準備が可能ですし、皆様に安心して業者を選定していただき、日頃の業務への支障を最小限にしてメッセへご参加いただけます。今号では運送業務の新メンバーである株式会社 石川組を下記にご紹介します。サービス ALLIANCE についての詳細は[こちら](#)を。

MDJサービスALLIANCE
通関輸送業者



株式会社 石川組

詳しくは[こちら](#)へ

ISHIKAWA-GUMI, LTD.

ISHIKAWA-GUMI, LTD.

私たち株式会社石川組は、60年以上にわたり展示会輸送を行っている通関輸送業者です。

大型機械から精密機器まで、多くの分野の輸送業務に精通しており、豊富な経験と実績を基に輸送サービスをご提供致します。

展示会輸送部門に12名の専属スタッフを配属しております。各出展者様へ常にクオリティの高いサービスをご提供できるよう、担当の展示会輸送のスペシャリストが営業・通関事務手続き・展示会場内作業の手配業務・海外出張を含めた現場作業まで、一貫して担当しております。そして最後まで温度差を感じさせることなく任務を遂行致します。

主な事業内容：一般港湾運送事業、通関業、倉庫業、海上運送取扱業、航空貨物代理業、貨物運送取扱事業、梱包業、各種保険代理業

主な資格：認定通関業者(AEO 通関業者)、特定保税承認者(AEO 倉庫業者)、International Exhibition Logistics Association (IELA) に加盟

【連絡先】

株式会社石川組 営業本部 国際部 展示会チーム 担当：石田・落合

Web：<http://www.ishikawa-gumi.co.jp/> Email：mdj@ishikawa-gumi.co.jp 電話：03-3474-8102

モビリティの次世代：輸送業者は電動トラックを導入

e モビリティは、低炭素社会とメッセに関連していると言っても過言ではない。現状、電気自動車の普及率が高いが車両全体に占める比率がまだ低く、電気自動車が主に乗用車だ。排気ガスの排出量が多いトラックは、電動車両がまだ少ない。しかし、欧州の物流業界は環境意識が強化されているため、特に町中の輸送には電動（小型）トラックの導入が始まっている。その事例をあげよう：

1. 世界最大の郵便物流会社であるドイツポスト DHL グループ (DPDHL) は、2014 年にドイツで話題になった「StreetScooter」社を買収し、e トラックを導入し始めた。StreetScooter 社は、2010 年に設立されたドイツ・アーヘン工科大学のスタートアップ企業であり、低価格の電動小型トラックを開発してきた。現時点、DPDHL は 3,400 台の StreetScooter を所有しているが、2017 年夏には DPDHL は米フォードの独子会社に 2,500 台の中型電動トラックの生産を発注した。この新たなトラックの導入によって、1 年間に 475 万リットルの燃料を削減することができる。

今年に入り、DPDHL は次のステップとして、貨物輸送及び配達を自動化するため、世界最大の自動車部品メーカーの一つである ZF と提携し、ZF ProAI 自動運転システムを搭載したトラックの実証実験を開始した。

2. 物流大手 UPS は、すでに 300 台の電動車を所有する上、2018 年春、英国メーカー「Arrival」社が開発した電動トラックの実証実験を、ロンドンとパリでスタートすると報道された。UPS は、これと別に米国テスラが開発中の電動トラック 50 台も発注したという。
3. 約 500 年の歴史がある英国の物流会社「Royal Mail」社も、上記 Arrival 社が開発した電動トラックの実証実験を開始したと報道された。DHL と共同で自動運転も目指している。



セミナーご案内

株式会社エヌ・アール・ダブリュージャパンは、2018 年 5 月 24 日に StreetScooter のテーマを含む「日独の次世代モビリティ戦略 - 業界の構図を塗り替える成功事例」というセミナーを横浜で開催する。参加無料、ただし事前申込を下記のサイトにて 5 月 17 日まで必要。

<https://registration.nrwinvest.com/ja/54>

情報と写真の出典：<https://cleantechnica.com/2018/05/10/paris-london-will-trial-electric-ups-delivery-vans/>

<https://electrek.co/2017/08/23/royal-mail-new-electric-autonomous-truck-arrival/>

<http://www.nvidia.co.jp/object/deutsche-post-dhl-drive-px-autonomous-delivery-truck-20171013-jp.html>

<https://electrek.co/2017/08/16/ford-new-electric-truck-dhl/>

メッセは自治体の税収を超える経済的効果をもたらす！

日本の政府機関あるいは自治体の方々とお会いする機会があると、メッセ・デュッセルドルフ本社はどれぐらいの補助金をもらっているか、とよく尋ねられます。答えは簡単で、ゼロ・ユーロ！一円ももらっていません。逆に、メッセ・デュッセルドルフは株主であるデュッセルドルフ市と NRW 州に、毎年度、きちんと配当金を支払っております。IFO 研究所の最新調査の面白い数字をベースに説明します：

- メッセ・デュッセルドルフの出展者は、平均で 1 年間、合計 12 億ユーロ超（1,566 億円に相当）の費用をもたらす。平均で出展社一社 43,150 ユーロ（560 万円に相当）を使っている（著者コメント：もちろん、出展ブースの広さなどのファクターがありますが、貴社と比較していかがでしょうか？ヨーロッパの競合に負けないよう、遜色のない面積、御社のマーケティング情報をきちんと伝えるブース装飾に気をつけていらっしゃいますでしょうか…）。
- 一方、デュッセルドルフで開催されるメッセの来場者は、出展者に比べて費用が少なく、1 人あたりは 520 ユーロ（6 万 8 千円）を使っている。

メッセを主催・運営する企業に補助金を提供するかどうかとの議論をする自治体にとって、下記のデータは面白いと思われます：

- デュッセルドルフは人口 60 万人の小さな町であるにもかかわらず、市内のサービス業者（出展関係のブース装飾、ホテル、レストラン、タクシーなど）は、メッセの出展者と来場者により、約 13 億ユーロ（約 1,690 億円に相当）の売り上げがある。もちろん、サービス業者はそれに相当する税金を市に納税しなければならないので、メッセ開催による、デュッセル市の税収は毎年 3,000 万ユーロ（30 億円）となる。
- 上記のサービス業者は出展者と来場者のニーズに対応するため、12,850 人を雇用し、彼らの給料を払っている。
- 最後にメッセ・デュッセルドルフは株主であるデュッセルドルフ市と NRW 州に対して配当金を支払う。2016 年には税引き後の利益の 30%に相当する 1,900 万ユーロ（24 億円）だったとのこと。

と言うわけで、きちんと企画運営すれば、展示会（メッセ）ビジネスは補助金不要だけでなく、所轄の自治体にも配当金を支払うことも可能なため、重要な経済ファクターと言えます。2020 東京のように、オリ・パラのためにメッセ会場を閉鎖するとなると、出展者と来場者のビジネスに悪影響を与えるだけでなく、その都市のサービス業のビジネスに支障も生み、当然、税収を減らすことにもなってしまいます。

出典：2018 年 5 月 7 日付け Rheinische Post 誌、
2017 年 9 月 7 日付け Westdeutsche Zeitung 誌



今月は船の旅をご紹介します。ライン川は今日でも船による運輸のために活用されている河川ですが、デュッセルドルフには通称 KD と呼ばれる船舶会社の観光船の波止場もあます。旧市街区にある船着場からケルンーデュッセルドルフ間の観光船が運行されています。その中でも一番短いものが“パノラマ・ラウンド・トリップ・デュッセルドルフ”と呼ばれるコースです。所要時間は約一時間で旧市街からメディア・ハーフェンを往復します。普段見ることのない視点でデュッセルドルフの町を眺めてみるのはいかがでしょうか。英語とドイツ語で、各所の見どころ、知っておきたいポイントの説明があります。この小さな船旅は3月末から10月末まで（年によって若干の日程の変更があります）の間、一日に10時30分、12時、13時30分15時、16時30分、18時と最高6便が就航しています（乗客が10人以下の場合は運行中止となります）。乗船券は大人一人10,40€。もう一つは夕暮れ時のコースで、見本市のお仕事の後でも乗船が可能で、くつろいだ時間をお楽しみいただけるのではないかと思います。6月初めから9月末までの期間、月曜日から木曜日の20時発22時着、約2時間。船上で食事と飲み物が提供されますが、別途支払いになります。発着場所は同上で大人一人17,60€。



もう一つの提案は、時間に十分余裕のある方へのお勧めですが、ケルン・デュッセルドルフ間を船で往復するケルン観光も兼ねた船旅です。こちらは運行プランが限定されており、2018年は、5月16日、6月20日、7月18日、8月15日。9時半にデュッセルドルフ旧市街から乗船し、川を遡上することになりますのでケルン到着は15時です。ケルンで2時間の観光があり、17時にケルンから乗船し20時にデュッセルドルフに戻ります。乗船券は大人一人48ユーロ。船内での朝食とランチのビュッフェ及びケルンでの市内観光が混みのお値段です。この他にも多くの観光コースがありますので、詳しくはホームページ（[こちらから](#)）をご参照ください。

チケットの購入はオンライン（[こちらから](#)）でも可能ですが、デュッセルドルフ旧市街区の川沿い、Burgplatz 1, 40213 Düsseldorf（ブルグプラッツ）にチケット売り場と船着き場があります。上のkdのロゴがチケット売り場の目印です。

オフィスの営業時間は毎日10時から18時まで、また電話での問い合わせは0211-3239263で受け付けています。

社名：Köln-Düsseldorfer Deutsche Rheinschiffahrt AG

ホームページ：<https://www.k-d.com/en/>

出展者募集中のメッセ

K 2019 – 国際プラスチック・ゴム産業展



2019年10月16日～23日（ドイツ・デュッセルドルフ）



3年ごとに独・デュッセルドルフで行われる、世界最高峰のプラスチック・ゴム産業展『K』の、次回2019年開催への出展お申し込み期限が、いよいよ今月末 = 5月31日（木）と迫って参りました。機械・素材エリア両方に設置予定のジャパン・パビリオンも、残小間わずかとなってきております。全世界から230,000もの関係者が集結する『K 2019』で、貴社の製品・技術を効果的に売り込んでみませんか？各種ご相談は、[こちら](#)へどうぞ。（担当：橋木）

MEDICAL FAIR ASIA 2018 – アジア国際医療機器展



MEDICAL MANUFACTURING ASIA 2018 – アジア国際医療機器技術

部品展

2018年8月29日～31日（シンガポール）



MEDICA COMPAMED が開催するシンガポールでの医療機器展と部品展（隔年開催）。エリアのディストリビューターだけでなく、現地の大学、研究機関とのコンタクト開拓も可。フルブッキングで開催予定。完売次第申込受付終了のためお早めにお問い合わせ

ください（日本エリア残り6小間）。前回開催規模：出展830社（日本44社）、来場12,000名。ファイナルレポートは[こちら](#)。（担当：服部）

INDOPLAS 2018 + indopack 2018 + INDOPRINT 2018



インドネシア国際プラスチック・ゴム・加工・包装・印刷産業展

2018年9月19日～22日（インドネシア・ジャカルタ）



ASEAN 圏最大の市場を有するインドネシア、その首都ジャカルタで開催される、INDOPLAS – indopack – INDOPRINT に、廉価かつ効果的にご参加いただける《ジャパン・エリア》を企画しています（お申し込み期限 = 6月25日）。ぜひともこの機会に、出展をご検討ください。各種ご相談は、[こちら](#)にて。（担当：橋木）

indometal 2018 – 東南アジア国際金属・スチール製造・技術展



2018年10月17日～19日（インドネシア・ジャカルタ）



デュッセルドルフ開催のindometalの運営のノウハウをもとに、現地パートナーとともに indometal を主催しています。

ASEAN 経済圏における鉄・非鉄金属需要の増大が今後も見込まれ、貴社アジア戦略として是非「indometal」の出展をご検討下さい。[各種ご案内](#)（和文案内）（担当：ユング）

All in Print China 2018 – 中国国際印刷技術・機械展



2018年10月24日～28日（中国・上海）



中国国際全印展

中国、そしてアジアをリードする印刷技術・機械展へと成長した [All in Print China](#) は、《Enter the Era of Intelligent Printing》とのスローガンのもと、本年10月に第7回目を迎えます。お申し込み期限は、**今月末 = 5月31日（木）**でございますが、お申し込み書をご提出いただいた順に、小間位置をご案内しておりますため、出展をご検討のお客さまにおかれましては、ぜひ [お早めにご相談](#) くださいますよう、よろしくお願い致します。（担当：橋木）

indiapack/pacprocess 2018 – インド国際加工・包装産業展



food pex India 2018 – インド国際食品加工・包装産業展

2018年10月24日～26日（インド・ムンバイ）



インド包装研究所（IIP）との協力関係締結を機に改称し、国内の主要都市で毎秋の開催となった [indiapack/pacprocess + food pex India](#)、その記念すべき昨年の第1回目に212社が出展、約10,000もの関係者が来場し、好評を博しました。本年秋は、商都ムンバイにて行われます。ぜひ、出展参加をご検討ください！（担当：橋木）

wire India / Tube India / Metallurgy India 2018



インド国際ワイヤー産業展 / インド国際管材製造加工展 /

インド国際冶金技術展（インド・ムンバイ） 2018年11月27日～29日



デュッセルドルフで「wire/Tube」展ならびに「METEC」を主催するメッセ・デュッセルドルフが、インド市場で展開するこの3展は、グローバル企業とインド現地関係者が一堂に会する、貴重なビジネス機会です。前回レビューや次回の出展各種ご案内：[wire India](#)、[Tube India](#)、[Metallurgy India](#)。（担当：ユング）

boot 2019 – 国際ポートショー



2019年1月19日～27日（ドイツ・デュッセルドルフ）



デュッセルドルフで毎年1月に開催する「boot」展は、2019年に50周年を迎える。前回、68ヶ国から出展者1,932社が103,361㎡の面積を利用し、新製品を展示発表。世界中の102ヶ国から約24万7,000人のビジターがbootを訪れた。ぜひ、ビジネスの拡大のチャンスをお見逃しなくご利用ください！申し込みの締め切りは6月18日。詳細は[日本語ウェブサイト](#)で。（担当：ユング）

EuroCIS 2019—国際リテール技術展



2019年2月19日～21日（ドイツ・デュッセルドルフ）



EuroCIS はリテール技術において欧州でのナンバー・ワンです。日系出展企業は、エプソン、沖電気工業、カシオ、グローリー、サトウ、シチズン・システムズ、寺岡精工グループのディジ、セイコーインスツル、東芝テック、日本金銭機械と富士通テクノロジー・ソリューションズなど。出展申込ご案内は[こちら](#)。申込締切は8月末（担当：メルケ）

ProWein 2019—国際ワイン・アルコール飲料フェア



2019年3月17日～19日（ドイツ・デュッセルドルフ）



世界最大のワイン・アルコール飲料フェア [ProWein](#)。2018年に、6800社のメーカーが約6万人のバイヤー（業界関係者のみ）と商談。日本から、25社の日本酒メーカーとワイナリーが参加し、新規のビジネスパートナーを開拓。締切は7月31日！！（担当：メルケ）

EuroShop—国際店舗設備・販売促進展



2020年2月16日～20日（ドイツ・デュッセルドルフ）



3年ごとに開催される、店舗設備・設計・販売促進業界にとってナンバーワンであるEuroShopは、次回の2020年2月に向け準備を進めています。2017年の実績は：展示面積12万㎡、61カ国から2,368社の出展者、113,000名の来場者でした。是非、このチャンスをお見逃しなくご利用ください。各種ご相談は[こちら](#)にて。（担当：メルケ）

上記以外の出展者募集中のメッセ情報につきましてはこちらの[メッセ・カレンダー](#)をご覧ください。[こちらよりお問い合わせください](#)。



来場者向け情報

現地の交通案内、デュッセルドルフ市内地図やレストラン・ガイドなどについての情報は [こちら](#) をご覧下さい。

モバイル機器ご利用の方に、出展者や製品検索に「Messe Düsseldorf App」をお勧めします。

[Apple](#) [Android](#)

glasstec 2018 – 国際ガラス製造・加工機材展 2018年10月23日～26日（ドイツ・デュッセルドルフ）



glasstec は、「ガラス製造機械・技術」、「ガラス加工・仕上げ」、「ガラス製品・応用」、「工具・付属部品」、「測定・駆動・検査・制御技術」そして「研究開発」の6分野に出展製品が大別されて

おり、目的の製品・技術を効率的にご視察いただけます。ご視察の準備はお早めに！ [出展者検索](#) [ツアー情報](#) [入場券購入](#) [日本語パンフ](#)（日本出展者記載）（担当：ユング）

上記以外の開催間近のメッセ情報につきましてはこちらの[メッセ・カレンダー](#)をご覧ください。どうか、[こちらよりお問い合わせください](#)。

編集・広告に関する問い合わせ先：



(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1
ニューオータニ ガーデンコート 7F
Tel.:03-5210-9951 Fax:03-5210-9959
Mail:info@messe-dus.co.jp
Web:www.messe-dus.co.jp